

番号	工事内容
①	「霊安・病理解剖」撤去・「救急処置室2次」新設

【1階】ER改修荷下ろしヤード
 「霊安・病理解剖」撤去・「救急処置室2次」新設

避難器具着地場
 ゼブラゾーン塗り

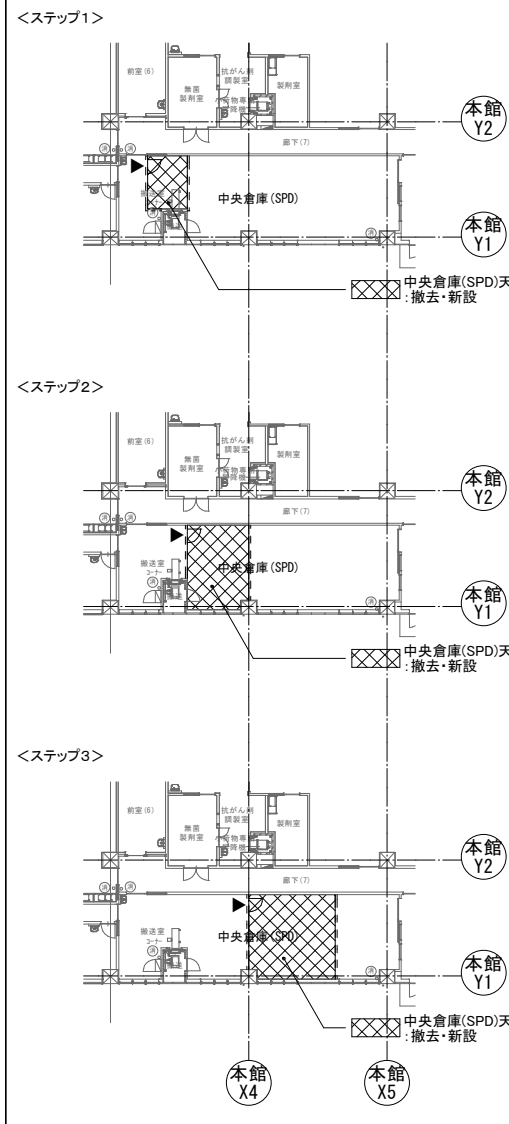
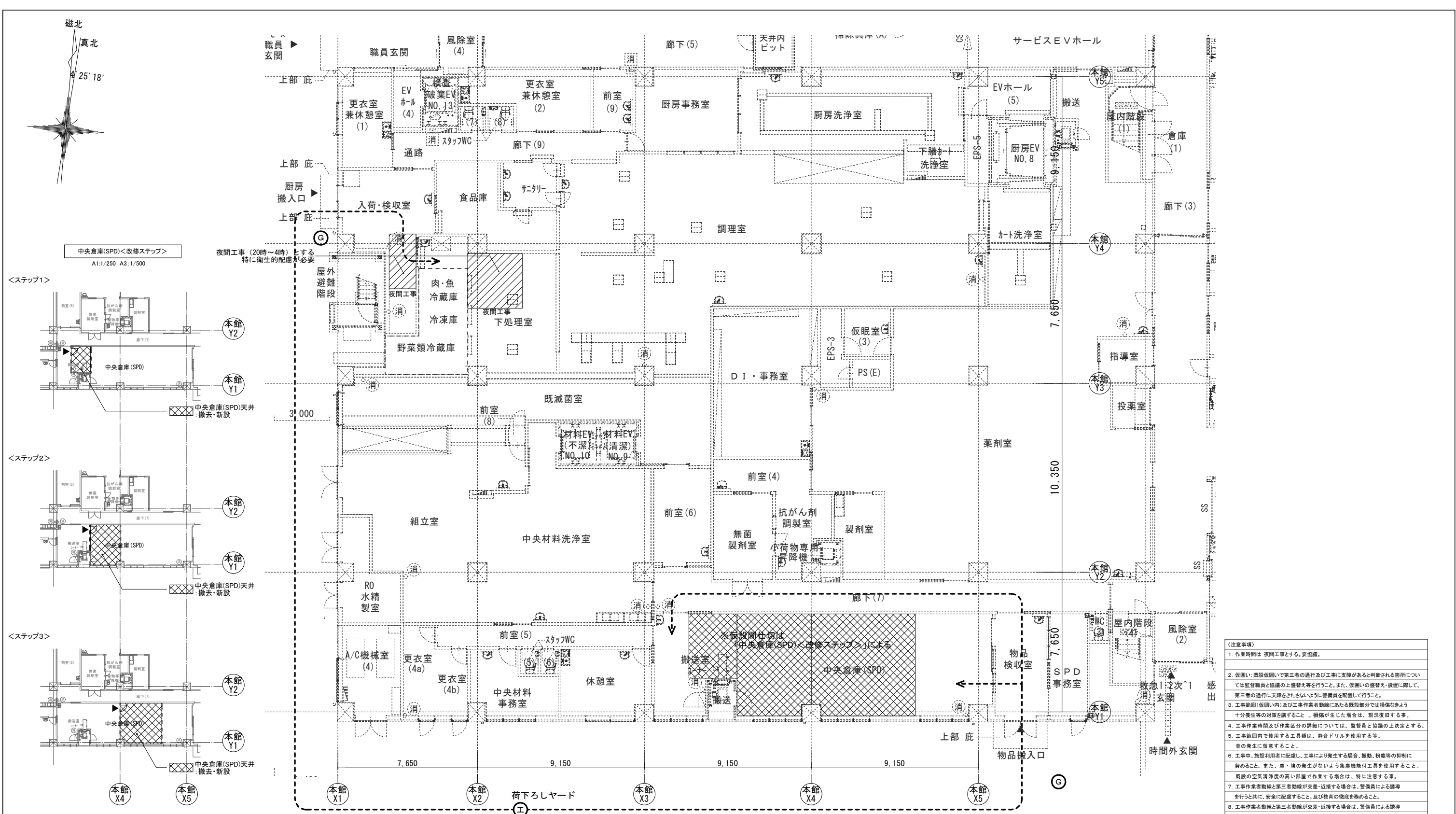
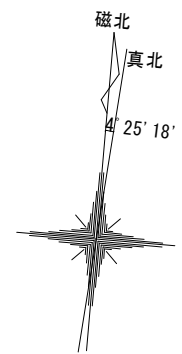
既存：アイソレーション壁
 ※使用できる状態とする

- 【注意事項】
- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
 - 仮囲い：既設仮囲いで第三者の通行及び工事支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤去等を行うこと。また、仮囲いの撤去・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないように警備員を配置して行うこと。
 - 工事範囲（仮囲い内）及び工事作業動線にある既設部分には損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
 - 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督職員と協議の上決定とする。
 - 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
 - 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意する事。
 - 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
 - 工事作業動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、後行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
 - 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督職員・病院と協議の上、工事すること。
 - 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
 - 内部足場は屋内使用のため、足・埃等を落とす清掃したものを要すること。特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
 - PC床版への穿孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
 - 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
 - 工事着手前に搬出入ルートを事前に協議の上、着手すること。
 - 廊下(3)・救急待合室側から救急処置室への動線を確保すること。自動ドア等の撤去・新設時、施設を使いながらの工事のため、十分に現場と協議の上、調整を行うこと。
 - 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
 - 除染室は新設した後に旧除染室を解体し、継続して使用可能とすること。

■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
■	全面(床・天井)撤去・改修範囲を示す	▨	撤去範囲を示す
▨	天井撤去範囲を示す	----	仮設間仕切り
▨	天井撤去(下部通行可)範囲を示す	▽	仮設扉(W=900、H=1800程度)
※	※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること	◎	交通誘導員位置
※	※工事エリア	⊠	天井点検口600角(新設)
※	※単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置	→	スタッフ動線
※	※一般通行エリア	→	来院者動線
●	●有効幅1600(両側居室)、H=2400程度	→	工事関係者動線(メイン動線)
●	●仮設天井(経天地下+不燃化箱PB t19.5)	→	工事関係者動線(サブ動線)
●	●仮設壁・建築内装工事仮囲い等(LGS下地の上化箱PB t12.5片面張り)	→	工事関係者動線(サブ動線)
●	●仮設天井上部は単管足場+鋼製布板	→	工事関係者動線(サブ動線)
●	●最終的には足場解体・天井仕上げを移動しながら施工することになるためガードマ配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。	→	救急車動線

本館棟	階	内容	工期表																										
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	ICU→ICU、廊下	本館4階①: 仮設計計画①	→														供用開始												
		本館4階②: 仮設計計画②	→														供用開始												
3階	事務室(1)→女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)→スタッフ室	本館3階①: 仮設計計画① STEP(A)	→														供用開始												
		本館3階②: 仮設計計画② STEP(B)(C)	→														供用開始												
2階	内視鏡センター→外来化学療法室・廊下	本館2階①: 仮設計計画①	→														供用開始												
		本館2階②/2: 仮設計計画②	→														供用開始												
1階	化学療法室→ミキシング室・診察室 細胞処理室→待合(7)	本館1階①: 仮設計計画①(1)-(2)	→														供用開始												
		本館1階②: 仮設計計画②	→														供用開始												
E/F棟	3階	仮設事務室 準備	ER階3階																										

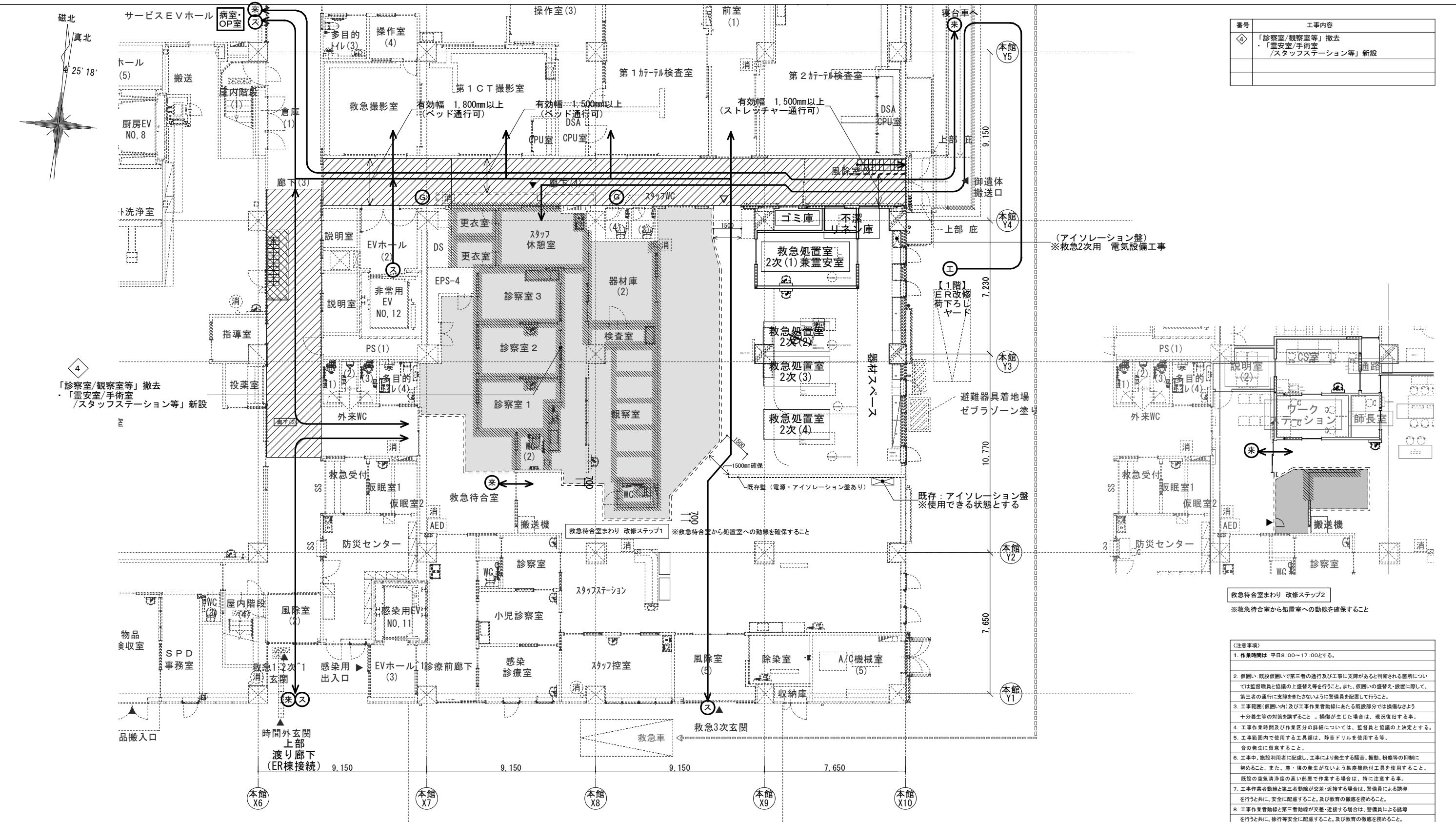


■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
[Solid Grey]	全面(床・壁・天井)撤去・改修範囲を示す	[Hatched]	撤去範囲を示す
[Cross-hatched]	天井撤去範囲を示す	[Dashed]	仮設間仕切り
[Diagonal Hatched]	天井撤去(下部通行可)範囲を示す	[Circle with G]	仮設扉(W=900、H=1800程度)
[Circle with G]	※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること	[Circle with T]	天井点検口600角(新設)
[Circle with T]	※工事エリア	[Circle with S]	スタッフ動線
[Circle with S]	※単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置	[Circle with R]	来院者動線
[Circle with R]	※一般通行エリア	[Circle with B]	工事関係者動線(メイン動線)
[Circle with B]	有効H=1600(両側居室)、H=2400程度	[Circle with D]	工事関係者動線(サブ動線)
[Circle with D]	仮設天井(経天地下部+不燃化箱PB t19.5)	[Circle with E]	救急車動線
[Circle with E]	仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の上化粧PB t12.5片面張り)		
[Circle with F]	仮設天井上部は単管足場+鋼製布板		
[Circle with G]	最終的に足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるためガードマ配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		

本館棟	4階	3階	2階	1階	E棟	3階
4階	HCU-ICU、廊下	ICU-HCU、廊下	事務室(1)→女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)→スタッフ室	内視鏡センター→外来化学療法室・廊下	中央処置室、廊下	化学療法室→ミキシング室・診察室 細胞処理室→待合(7)
3階	事務室(1)→女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)→スタッフ室	内視鏡センター→外来化学療法室・廊下	中央処置室、廊下	化学療法室→ミキシング室・診察室 細胞処理室→待合(7)	2次・3次救急 調理室、中央倉庫SPD、薬剤室、廊下	仮設事務室 準備
2階	事務室(1)→女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)→スタッフ室	内視鏡センター→外来化学療法室・廊下	中央処置室、廊下	化学療法室→ミキシング室・診察室 細胞処理室→待合(7)	2次・3次救急 調理室、中央倉庫SPD、薬剤室、廊下	仮設事務室 準備
1階	事務室(1)→女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)→スタッフ室	内視鏡センター→外来化学療法室・廊下	中央処置室、廊下	化学療法室→ミキシング室・診察室 細胞処理室→待合(7)	2次・3次救急 調理室、中央倉庫SPD、薬剤室、廊下	仮設事務室 準備
E棟	事務室(1)→女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)→スタッフ室	内視鏡センター→外来化学療法室・廊下	中央処置室、廊下	化学療法室→ミキシング室・診察室 細胞処理室→待合(7)	2次・3次救急 調理室、中央倉庫SPD、薬剤室、廊下	仮設事務室 準備

- (注意事項)
- 作業時間は夜間工事とする。要協議。
 - 仮囲い：既設仮囲いで第三者の通行及び工事に支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤替え等を行うこと。また、仮囲いの撤替え・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないように警備員を配置して行うこと。
 - 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業者動線にある既設部分では損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
 - 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督職員と協議の上決定とする。
 - 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
 - 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
 - 工事作業者動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
 - 工事作業者動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、後行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
 - 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督職員・病院と協議の上、工事すること。
 - 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
 - 内部足場は屋内使用のため、足・埃を落とすとして清掃したものを要すること。
 - 特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
 - PC床版への穿孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
 - 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
 - 工事着手前に搬出入ルート事前に協議の上、着手すること。
 - 廊下(3)・救急待合室側から救急処置室への動線を確保すること。自動ドア等の撤去・新設時、施設を使いながらの工事のため、十分に現場と協議の上、調整を行うこと。
 - 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
 - 除染室は新設した後に旧除染室を解体し、継続して使用可能とする。



番号	工事内容
④	「診察室/観察室等」撤去 ・「豊安室/手術室 /スタッフステーション等」新設

(アイソレーション盤)
※救急2次用 電気設備工事

既存：アイソレーション盤
※使用できる状態とする

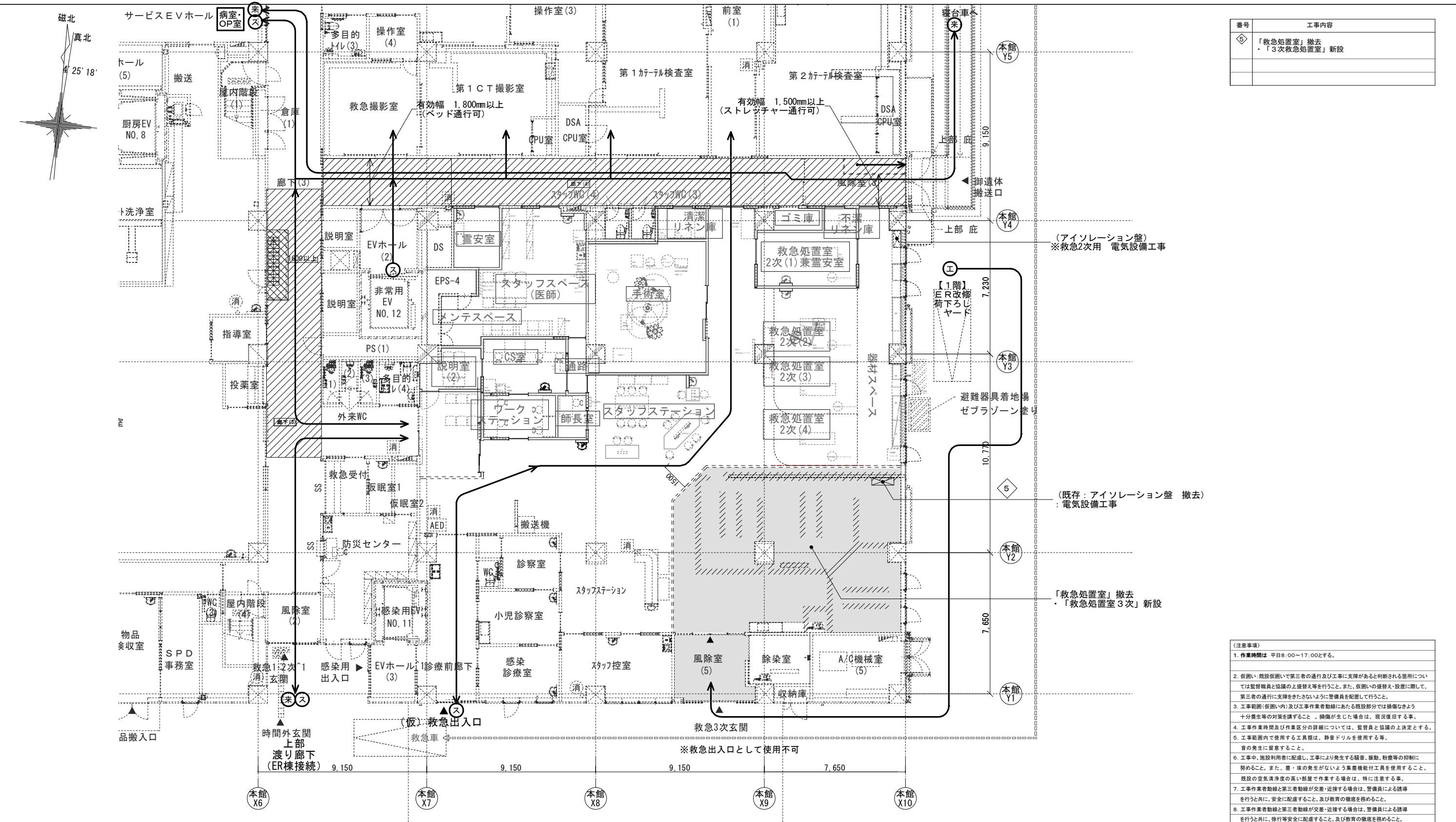
救急待合室まわり 改修ステップ2
※救急待合室から処置室への動線を確保すること

- 【注意事項】
- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
 - 仮囲い：既設仮囲いで第三者の通行及び工事支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤替等を行うこと。また、仮囲いの撤替・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないよう警備員を配置して行うこと。
 - 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業者動線にあたる既設部分では損傷なきよう十分養生等の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
 - 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督員と協議の上決定とする。
 - 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
 - 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
 - 工事作業者動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を促すこと。
 - 工事作業者動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、後行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を促すこと。
 - 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督員・病院と協議の上、工事すること。
 - 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
 - 内部足場は屋内使用のため、足・埃を落とすとして清掃したものを使用すること。特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
 - PC設備への穿孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
 - 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
 - 工事着手前に搬出入ルートを事前に協議の上、着手すること。
 - 廊下(3)・救急待合室側から救急処置室への動線を確保すること。自動ドア等の撤去・新設時、施設を使いながらの工事のため、十分に現場と協議の上、調整を行うこと。
 - 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音には注意すること。
 - 除染室は新設した後に旧除染室を解体し、継続して使用可能とする。

■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
	全面(床・壁・天井)撤去・改修範囲を示す		撤去範囲を示す
	天井撤去範囲を示す		仮設間仕切り
	天井撤去(下部通行可)範囲を示す		仮設扉(W=900、H=1800程度)
※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること			
※工事エリア			
	単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置		スタッフ動線
	※一般通行エリア		来院者動線
	有効幅=1600(両側居室)、H=2400程度		工事関係者動線(メイン動線)
	仮設天井(経天地下+不燃化箱PB t19.5)		工事関係者動線(サブ動線)
	仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の上化箱PB t12.5片面張り)		救急車動線
	仮設天井上部は単管足場+鋼製布板		
	最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるためガードマ配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		

本館階	内容	工期表																										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	HCU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計計画①														供用開始												
4階	ICU-HCU、廊下	本館4階②: 仮設計計画②														供用開始												
3階	事務室	本館3階①: 仮設計計画③-④ STEP(A)														供用開始												
3階	会議室(1)一女子更衣室、男子更衣室拡張	本館3階②: 仮設計計画⑤-⑥ STEP(B);(C)														供用開始												
3階	災害倉庫(3)一スタッフ室	本館3階③: 仮設計計画⑦-⑧														供用開始												
3階	内視鏡センター一外来化学療法室・廊下	本館3階④: 仮設計計画⑨-⑩														供用開始												
2階	中央処置室、廊下	本館2階①: 仮設計計画⑪														供用開始												
2階	化学療法室一ミキシング室・診察室	本館2階②: 仮設計計画⑫-⑬														供用開始												
2階	細胞処理室一待合(7)	本館2階③: 仮設計計画⑭-⑮														供用開始												
1階	2次・3次救急	本館1階①: 仮設計計画⑯-⑰														供用開始												
1階	調理室、中央書庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階②: 仮設計計画⑱-⑳														供用開始												
1階	ER	本館1階③: 仮設計計画㉑-㉒														供用開始												
3階	仮設事務室 準備	ER階③開														供用開始												



番号	工事内容
⑤	「救急処置室」撤去 ・「3次救急処置室」新設

(アイソレーション盤)
※救急2次用 電気設備工事

(既存: アイソレーション盤 撤去)
: 電気設備工事

「救急処置室」撤去
・「救急処置室 3次」新設

- 【注意事項】
- 作業時間は 平日8:00~17:00とする。
 - 仮囲い: 既設仮囲いで第三者の通行及び工事に支障があると判断される箇所については監督職員と協議の上撤替等を行うこと。また、仮囲いの撤替・設置に際して、第三者の通行に支障をきたさないように警備員を配置して行うこと。
 - 工事範囲(仮囲い内)及び工事作業者動線にある既設部分では損傷なきよう十分養生の対策を講ずること。損傷が生じた場合は、現況復旧する事。
 - 工事作業時間及び作業区分の詳細については、監督員と協議の上決定とする。
 - 工事範囲内で使用する工具類は、静音ドリルを使用する等、音の発生に留意すること。
 - 工事中、施設利用者に配慮し、工事により発生する騒音、振動、粉塵等の抑制に努めること。また、塵・埃の発生がないよう集塵機能付工具を使用すること。既設の空気清浄度の高い部屋で作業する場合は、特に注意すること。
 - 工事作業者動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
 - 工事作業者動線と第三者動線が交差・近接する場合は、警備員による誘導を行うと共に、後行等安全に配慮すること。及び教育の徹底を要すること。
 - 改修範囲内の断水や停電作業、音の出る作業は施工計画を、監督員・病院と協議の上、工事すること。
 - 図示の改修エリア以外で資材置場が必要な場合は、監督職員・病院と十分協議の上設置すること。
 - 内部足場は屋内使用のため、足・埃を落とすとして清掃したものを使用すること。特に、調理や診療を行う室は、衛生面に配慮し、十分に養生すること。
 - PC床板への穿孔作業は、静音タイプのコアドリルを用いて施工すること。
 - 上記作業時間は、平日16:00~20:00又は、休日のうち施設管理者と相談のうえ、施工を行うこと。
 - 工事着手前に搬出入ルートを事前に協議の上、着手すること。
 - 廊下(3)・救急待合室側から救急処置室への動線を確保すること。自動ドア等の撤去・新設時、施設を使いながらの工事のため、十分に現場と協議の上、調整を行うこと。
 - 2階で心エコー等の音の検査を行っているため、騒音に注意すること。
 - 除染室は新設した後に旧除染室を解体し、継続して使用可能とする。

■凡例

図面記号	内容	図面記号	名称
■	全面(床・壁・天井)撤去・改修範囲を示す	○	撤去範囲を示す
▨	天井撤去範囲を示す	□	仮設間仕切り
▨	天井撤去(下部通行可)範囲を示す	▽	仮設扉(W=900、H=1800程度)
※	※天井撤去範囲の下部を通行可能とするため、一般通行エリアを確保しながら工事エリアを設定すること	○	交通誘導員位置
※	※工事エリア	□	天井点検口600角(新設)
※	※単管足場、鋼製布板、一部足場用階段W400設置	→	スタッフ動線
※	※一般通行エリア	→	来院者動線
※	※有効幅=1600(両側留室)、H=2400程度	→	工事関係者動線(メイン動線)
※	※仮設天井(経天地下+不燃化箱PB t9.5)	→	工事関係者動線(サブ動線)
※	※仮設壁・建築内装工事用仮囲い等(LGS下地の上化粧PB t12.5片面張り)	→	救急車動線
※	※仮設天井上部は単管足場+鋼製布板		
※	※最終的には足場解体・天井仕上を移動しながら施工することになるためガードマ配置等の安全対策と病院との調整を十分に行うこと。		

本館階	内容	工期表																										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
4階	HCU-ICU、廊下	本館4階①: 仮設計計画①														供用開始												
4階	ICU-HCU、廊下	本館4階②: 仮設計計画②														供用開始												
3階	事務室	本館3階①: 仮設計計画① STEP(A)														本館3階②: 仮設計計画② STEP(B)(C)												
3階	会議室(1)一女子更衣室、男子更衣室拡張 災害倉庫(3)一スタッフ室	本館3階③: 仮設計計画③														本館3階④: 仮設計計画④ STEP(D)(E)												
3階	内視鏡センター一外来化学療法室・廊下	本館3階⑤: 仮設計計画⑤														供用開始												
2階	中央処置室、廊下	本館2階①/2: 仮設計計画①-②														供用開始												
2階	化学療法室-ミキシング室・診察室 細胞処理室-待合(7)	本館2階②/2: 仮設計計画②														本館2階③/2: 仮設計計画③												
1階	2次・3次救急 調理室、中央倉庫SPD、薬剤室・廊下	本館1階①: 仮設計計画①(1)-(2)														本館1階②: 仮設計計画②												
1階		本館1階③: 仮設計計画③														本館1階④/2: 2/2 仮設計計画④(1)-(4)												
1階		本館1階⑤: 仮設計計画⑤(1)-(5-2)														本館1階⑥/2: 2/2 仮設計計画⑥(1)-(5-2)												
E 尺棟	仮設事務室 準備	ER棟3階																										